

< 予算編成過程・KPIの公開【シートの見方】 >

こちらは例示です。

新規事業/投資的事業/変更事業/
臨時事業/その他事業 があります。

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」で採択された17の持続可能な開発のための目標です。ここでは、事業に関連するゴール(目標)の番号を表示しています。それぞれのゴールの内容については、次ページをご参照ください。

査定の推移です。
要求額から市長査定額までの金額の推移を示します。

No. ◇◇		担当課室 ○○部△△△△課			事業名 ●●●●公園整備事業				事業区分		投資的事業							
事業概要		××地域の市所有の○○倉庫跡地に街区公園を新設する。本地域は市内全域と比較して公園の面積が少ない。特に東部地域は既存公園数が1か所しかなく、更には狭隘なため遊具・ベンチの数も少ない。そのため、本地域に複数の遊具と四阿(あずまや)を設置した公園を新たに設ける。バリアフリー化も充実させ、誰もが安全で安心して遊べるだけでなく、地域内の人々の行き交う拠点として整備する。																
SDGs (持続可能な開発目標)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
担当課室要求額		財政担当査定額			市長査定額													
①		②			増減(②-①)				③				増減(③-②)					
60,000 千円		40,000 千円			△20,000 千円				50,000 千円				+10,000 千円					
KPI	受益者など(見込)	××地域R3.10.1現在人口: 20,000人				④				対象1人あたり				2,500 円				
査定結果の理由等		地域内の公園の配置数を検討した結果、新たな設置は必要と認めたものの市全体の予算規模を踏まえて、遊具の一部と四阿(あずまや)1基の整備費用については一旦保留した。その後、事業の優先度を考慮した結果、遊具の一部に限り復元した。四阿(あずまや)については、1か所で多くの人々が利用できるよう、要求内容を見直し、規模を大きくする一方で2基から1基に数を減らすことで、一部費用の計上を見送った。																

KPI(Key Performance Indicator)とは、重要業績評価指標で目標の達成度を測るものです。ここでは、受益者など(見込)と対象1人あたりに換算した経費等(単価)を記載しています。

対象1人あたりの単価です。
市長査定額③÷受益者など(見込)④
(50,000千円÷20,000人=2,500円)

<SDGsの17のゴール>

国連持続可能な開発目標 (SDGs)



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



各国内及び各国間の不平等を是正する



包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



持続可能な生産消費形態を確保する



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

出典: 環境省「SDGs活用ガイド」より